

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 8 月 27 日 (2020.8.27)

【公開番号】特開 2019-17691 (P2019-17691A)

【公開日】平成 31 年 2 月 7 日 (2019.2.7)

【年通号数】公開・登録公報 2019-005

【出願番号】特願 2017-138583 (P2017-138583)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 5 A

A 6 3 F 7/02 3 1 6 A

A 6 3 F 7/02 3 1 2 Z

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 7 月 15 日 (2020.7.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

外枠に対して開閉可能な本体枠と、該本体枠に設けられ、遊技球が流下可能な遊技領域が形成された遊技盤とを備え、前記遊技領域に、遊技球の入球により賞球を付与する入賞口と、賞球を付与しないアウト口とが設けられた遊技機において、

前記入賞口に入球した遊技球と、前記アウト口に入球した遊技球の数をを用いて所定の演算を行う演算手段と、

前記演算の結果を外部から認識しうる特別情報として表示する特別情報表示手段と、当該遊技機の状態を判定する判定手段と、を備え、

前記判定手段として、

当該遊技機に特定の異常が発生したことを判定する手段と、

当該遊技機に対して特定の管理者行為が行われたことを判定する手段と、を有し、

前記特定の異常が発生した場合と、前記特定の管理者行為が行われた場合には、前記入賞口あるいは前記アウト口に遊技球が入球したとしても前記演算が行われない非演算状態になり、

前記特定の管理者行為が行われたことが判定されてから所定の解除条件が成立するまでの間、前記非演算状態が維持される

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 4】

しかしながら、従来の遊技機では、不具合等に対する十分な対策が施されておらず、遊技機の信頼性が低下してしまう虞があった。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 5

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 5 】

そこで、本発明は、上記の実情に鑑み、信頼性の高い遊技機の提供を課題とするものである。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 6

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 6 】

上述の目的を達成するための有効な解決手段を以下に示す。なお、必要に応じてその作用等の説明を行う。また、理解の容易のため、発明の実施の形態において対応する構成等についても適宜示すが、何ら限定されるものではない。

上記した目的を達成するために、請求項 1 に係る発明においては、

外枠に対して開閉可能な本体枠と、該本体枠に設けられ、遊技球が流下可能な遊技領域が形成された遊技盤とを備え、前記遊技領域に、遊技球の入球により賞球を付与する入賞口と、賞球を付与しないアウト口とが設けられた遊技機において、

前記入賞口に入球した遊技球と、前記アウト口に入球した遊技球の数をを用いて所定の演算を行う演算手段と、

前記演算の結果を外部から認識しうる特別情報として表示する特別情報表示手段と、

当該遊技機の状態を判定する判定手段と、を備え、

前記判定手段として、

当該遊技機に特定の異常が発生したことを判定する手段と、

当該遊技機に対して特定の管理者行為が行われたことを判定する手段と、を有し、

前記特定の異常が発生した場合と、前記特定の管理者行為が行われた場合には、前記入賞口あるいは前記アウト口に遊技球が入球したとしても前記演算が行われない非演算状態になり、

前記特定の管理者行為が行われたことが判定されてから所定の解除条件が成立するまでの間、前記非演算状態が維持される

ことを特徴とする。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 7

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正 6】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 8

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 8 】

本発明の遊技機においては、信頼性の高い遊技機を提供することができる。